

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 1 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 1 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 1 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【原材料価格や燃料費等のコスト負担の高まりが、利益圧迫や資金繰り難等に繋がり、全業種で業況が悪化した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-27.2（前月-21.8、前年同月-32.4）で、前月比 5.4pt 悪化した。新型コロナ感染状況が徐々に落ち着くものの、原材料価格や燃料費等コスト負担が高まり、利益確保や資金繰り難に苦悩している小規模事業者の声が多く聞かれた。

【製造業】

業況は-19.6（前月-15.7、前年同月-20.6）と前月に比べ 3.9pt 悪化した。原材料費・燃料費・電気代等のコスト負担増が利益を圧迫しており、価格転嫁もできず厳しい状況を強いられている。

【建設業】

業況は-38.2（前月-29.4、前年同月-44.1）と前月に比べ 8.8pt 悪化した。建築資材の不足や燃料費等の価格高騰が続いている。また必要資材の早急な確保に動いている事業者が多く、今後も更なる価格高騰を招く懸念が高まっている。

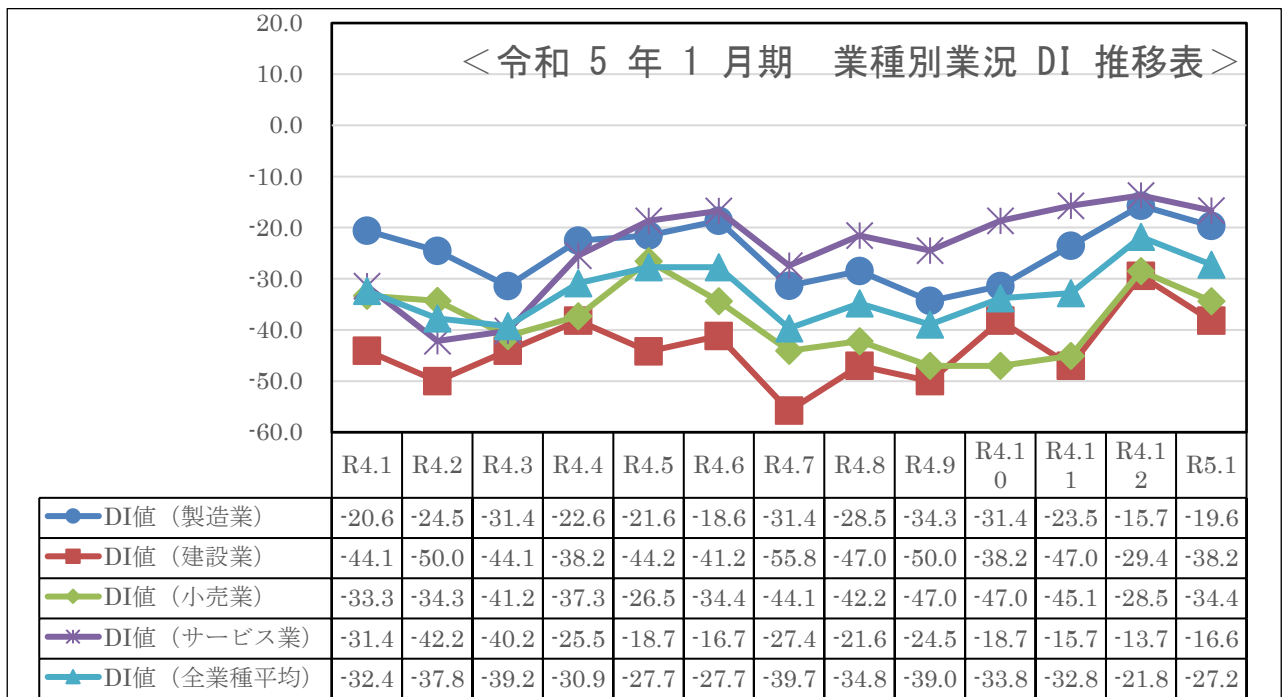
【小売業】

業況は-34.4（前月-28.5、前年同月-33.3）と前月比 5.9pt 悪化した。販売価格の値上げをしているものの、仕入原価や運搬費・光熱費等の経費負担増加により、利益が圧迫され、採算が取れない状況にある。

【サービス業】

業況は-16.6（前月-13.7、前年同月-31.4）と前月に比べ 2.9pt 悪化した。全国旅行支援等による宿泊業の稼働率向上や、それに伴う洗濯業の売上増にも繋がっているが、燃料費高騰等により採算が取れず、資金繰り悪化等の厳しい状況となっている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・燃料費、水道光熱費などの費用高騰により利益が出せていない。（伊豆）
- ・原材料や電気代等の高騰が続き、厳しい経営状況にある。（富士駿東）
- ・材料費、運搬費、電気料等の高騰により、利益が圧迫されている。（中部）
- ・機械金属業では、原材料やコストが高騰し、価格転嫁できず業況は厳しい。（中東遠）
- ・物価高騰に伴う大手取引先の経費削減の影響で、受注が減少する等不安定な状況。（西遠）

【建設業】

- ・従業員不足で現場を回せていない。また燃料費の高騰によりコスト増も影響大。（伊豆）
- ・建設資材高騰が続く中、出来る限り早く必要資材を確保するよう動いている事業者が多い模様で、それが更なる価格高騰に繋がっている恐れがある。（富士駿東）
- ・建設資材の高騰により、価格の見直しが始まっている。（中部）
- ・原材料費等の高騰による影響を受けており、価格転嫁もできず厳しい状況である。（中東遠）
- ・材料費が高騰している。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

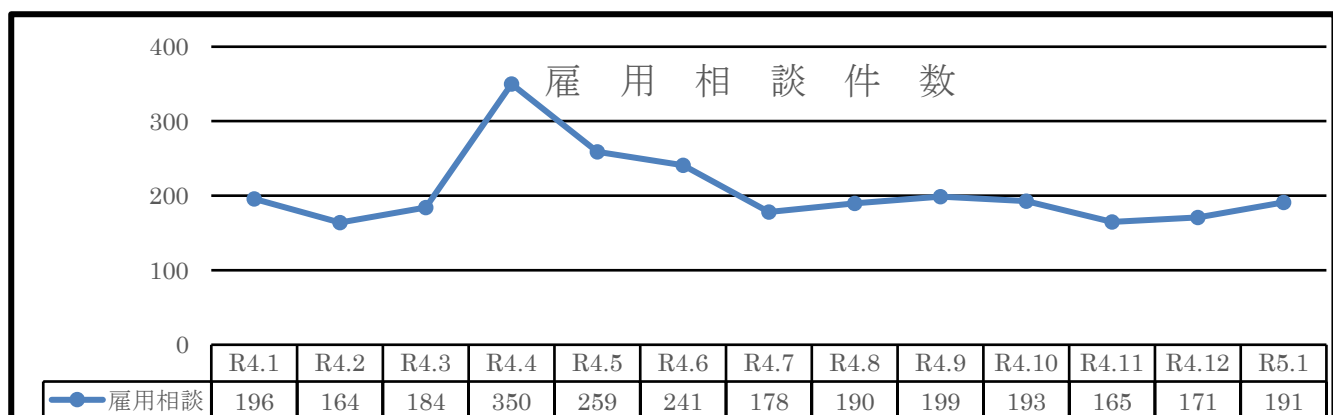
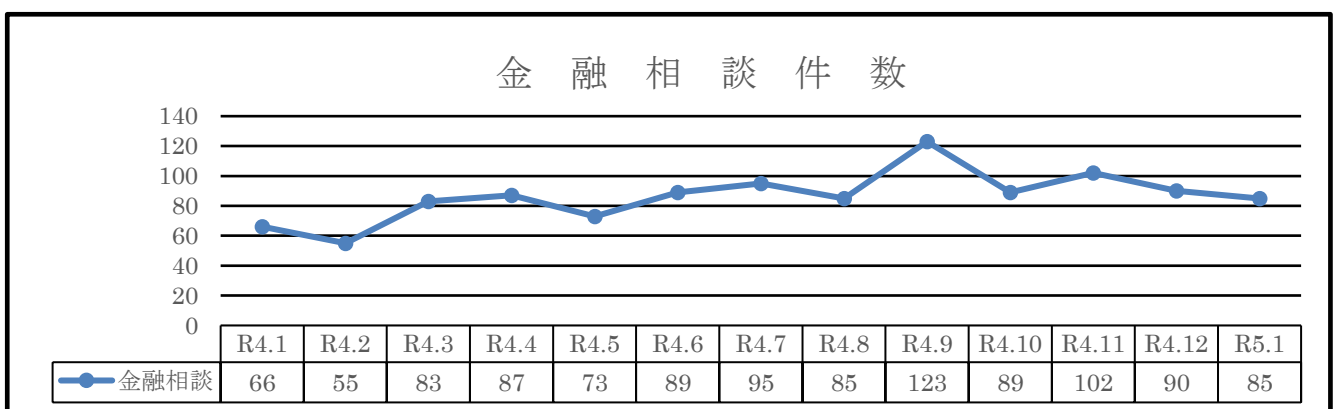
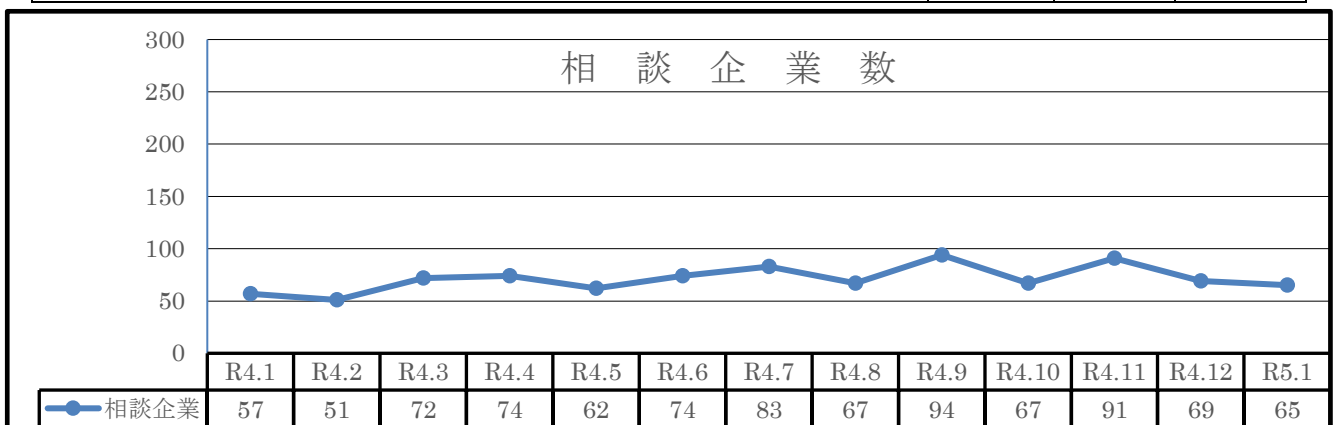
- ・食料品では、客足、売上ともに回復傾向にあるものの、原料高騰や価格転嫁が進んでいないことにより、採算が悪化している。（伊豆）
- ・物価高騰の影響で仕入値が上がっており、販売価格を上げて採算が取れない。（富士駿東）
- ・仕入、運搬費、光熱費が高騰しているため、利益が圧迫されている。（中部）
- ・食料品の仕入価格上昇が続き販売価格を見直した。価格が下がることが不透明な中、今後の消費低迷に繋がると思われ不安である。（中東遠）
- ・シラスの不漁による商品不足と価格高騰により売上は低迷している。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・洗濯業では、全国旅行支援等による宿泊業の稼働率向上に伴い売上は増加したが、燃料費高騰により採算は改善していない。（伊豆）
- ・仕入れ値や燃料等の高騰により業況はとても厳しい状況である。（富士駿東）
- ・洗濯業では、光熱費の上昇により資金繰りが悪化している。（中部）
- ・仕入単価や燃料費等の高騰を受け、不安が広がっている。（中東遠）
- ・旅館業では、年末年始の休暇が終わったことにより落ち着いた状況であり、3月の春休みに向けて建物の改装等を行う事業者もある。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年1月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	65	69	-4
【金融相談件数】	85	90	-5
新規融資(借換えを除く)	51	53	-2
既存債務の借換え	28	35	-7
借入れ条件変更	1	1	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	1	4
【雇用相談件数】	191	171	20



【金融相談】

金融相談件数は 85 件と前月(90 件)に比べ 5 件減少した。新型コロナ関連融資の返済に関する相談が続いている他、新型コロナの影響や物価高騰等のマイナス要因により利益確保や資金繰りに不安を抱えている事業者が多い。

<経営指導員コメント>

- ・飲食店を中心に現状では返済原資が捻出できない状況の事業所が多い。(富士駿東)
- ・新型コロナ特別貸付の返済据え置きが終了する事業者が増えており、今後の対応方法に関する相談が増加している。(中部)
- ・工場設備拡張に伴う設備資金と、マル経の借替等について相談対応を行った。(中東遠)
- ・新型コロナの影響により飲食店が売上減少する中、物価高騰も重なり、利益確保や資金面が苦しい。また、電気代を抑えられる新規設備を補助金活用により導入するためのつなぎ資金すら捻出が難しく、借入に頼らざるを得ない状況である(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、191 件と前月(171 件)に比べ 20 件増加した。人手不足や外国人労働者の雇用、最低賃金の上昇等、従業員確保・雇用維持に関する相談が多くあった。

<経営指導員コメント>

- ・人手不足により事業拡大できない等の相談が多い。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の特例措置の終了や経過措置、業務改善助成金等の制度について適宜情報案内を行った。(富士駿東)
- ・従業員確保難の相談が寄せられている。(中部)
- ・働き方改革や雇用保険資格取得喪失手続き、業務改善助成金等の相談があった。(中東遠)
- ・建設業において人手不足感があり、外国人の人材について相談がある。また、社会保険料の負担等を考慮すると社会保険加入を躊躇う事業所や従業員がいる。最低賃金も上がっている中で、勤務時間も伸びると 130 万はすぐに到達してしまう。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2/1(水)～3/5(日)に「河津桜まつり」が開催されている。(河津町)
- ・2/1(水)～2/28(火)に「第3回早春のおやまちスタンプまつり」が開催されている。(小山町)
- ・特産品である高足ガニの不漁も概ね解消されたものの、不漁の期間が長引いたことで客足低迷が続いている。(沼津市)
- ・1/31(火)まで掛川市プレミアム付商品券「e-じゃんかけがわ応援券」事業を実施した。(掛川みなみ)
- ・新型コロナにより中止となっていた「遠州はまきた飛竜まつり」の開催が決定した。(浜北)
- ・インボイスの登録について、親会社からの打診が全く無いという事業所もある反面、取引を排除するような動きも見られる。(浜名)
- ・観光協会や商工会、漁業関係者の協力で行っている観光事業「牡蠣小屋」は着地型観光の試みとして今年で 11 年目となる。昨年よりも豊漁であり供給体制は万全であり、テレビや新聞等のマスコミ取材で賑わいを見せることができている。期間については昨年より長い期間(12月下旬～3月中旬)実施できるようになり、冬枯れした観光施設の活性化に繋がると考える。(新居町)